

令和4年度第2回中央区在宅療養支援協議会 議事要旨

- 日時 令和5年3月2日(木) 午後6時30分～
- 場所 中央区役所8階 大会議室
- 出席者 【委員】16名
山田 雅子(聖路加国際大学教授)
竹見 敏彦(中央区医師会理事)
寺田 香織(京橋歯科医師会副会長)
関谷 治久(お江戸日本橋歯科医師会地域医療担当理事)
宮崎 夏樹(京橋薬剤師会副会長)
海老原 公代(日本橋薬剤師会理事)
宮崎 賢澄(中央区医師会)
小野 絵理子(訪問看護ステーションあかし所長)
寒河江 千智(医師会立中央区訪問看護ステーション管理者)
佐々木 佳子(聖路加国際病院訪問看護ステーション管理者)
春日井 祥子(ケアプランエンゼル)
富岡 真澄(アズミメディケアセンター東京管理者)
牧野 和子(京橋おとしより相談センター)
田中 智彦(福祉保健部長)
北澤 千恵子(高齢者施策推進室長)
渡瀬 博俊(保健所長)

《欠席者》 井関 栄三(日本橋医師会理事)

【事務局】 福祉保健部管理課長、介護保険課長、健康推進課長

●議事次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 高齢者施策推進室長あいさつ
- 4 議題
 - (1) 令和4年度事業実績報告
 - (2) 令和5年度在宅医療・介護連携推進事業について
 - (3) 医療・介護関係者の情報共有の支援について
- 5 閉会

議事の経過

1 議題（1）令和4年度事業実績報告

- ・資料1-1「令和4年度 緊急一時入院病床利用実績」
- ・資料1-2「令和4年度 在宅療養支援訪問看護の利用実績」
- ・資料1-3「令和4年度 医療ニーズの高い方向け緊急ショートステイの利用実績」
- ・資料1-4「令和4年度 おとしより相談センターの在宅療養相談窓口の実績」
- ・資料1-5「認知症初期集中支援チーム事業実施状況」
- ・資料1-6「認知症サポーター養成講座事業実施状況」
- ・資料1-7「『気軽に相談できる場（認知症カフェ等）』の実施状況」
- ・資料2-1「在宅療養支援研修実績一覧」
- ・資料2-2「令和4年度 在宅療養支援研修開催のご案内、アンケートまとめ」
 - ①歯科と薬の講演会
 - ②在宅療養支援シンポジウム
 - ③在宅療養支援研修（多職種連携グループワーク）

事務局から令和4年度事業実績について報告を行った。

（2）令和5年度在宅医療・介護連携推進事業について

- ・資料3-1「令和5年度 在宅医療・介護連携推進事業」
- ・資料3-2「令和5年度 在宅療養支援研修 実施案」

事務局から令和5年度の事業概要について説明を行った。

（おとしより相談センターの在宅療養相談について）

- ・相談内容から、次につながる研修であったり、ニーズの掘り起こしにもなるのではと思った。

（認知症初期集中支援チーム事業実施状況について）

- ・令和4年度の対象者について把握から初回訪問までの日数が102日なのはなぜか。
➡本人は受診を促しても拒否があり、おとしより相談センターの職員は頻回に訪問し、信頼関係を作る調整に時間を要した。

（区民向け研修について）

- ・オンラインでの参加もできるとありがたい。
➡主催者側の希望があれば可能かと考えている。

（3）医療・介護関係者の情報共有の支援について

- ・資料3-3「医療・介護関係者の情報共有の支援について」

事務局から事業概要について説明を行った。

医療介護用SNSアプリMCS（メディカルケアステーション）を実際に活用されている委員から事例についてご紹介いただいた。

- ・使い慣れている人から聞くのが一番わかりやすいので、使っている人はこれから始めたいと思っている人にやり方を教えてあげて欲しい。
 - ・歯科も使用したい。
 - ・訪問看護ステーションなど使用しているところから招待してもらおうと良い。
 - ・補助事業の令和3・4年度について、利用状況を知りたい。
 - ➡令和3年度の実績では中央区医師会からは21か所、日本橋医師会からは30か所参加機関があると報告を受けている。
 - ・現状では難しいが、訪問介護事業所も将来的にはMCSを使用できるように検討し

ていただきたい。

- ・補助金をいただいて多くの事業所がMCSに関われる仕組みができればと感じた。
- ➡補助金を十分に活用し、少しでも広く多職種が連携していけるよう役立てて欲しい。

(4) その他

- ・薬剤師会の中央区薬剤師在宅コーディネート事業説明会について薬剤師会の委員が説明をし、参加を促した。
- ・区民向け普及啓発の研修の周知方法について薬局やクリニックにチラシやポスターを置くと良いのではないかとの意見があった。
- ・歯科と薬の講演会のチラシについて「ケアマネの輪」に掲載して介護支援専門員を通して地域の区民に広める活動をした。今後もこのような活動を広めていきたいと思うとの報告があった。

(5) 事務局からの連絡事項

- ・在宅人工呼吸器使用者のための「災害時個別支援計画」作成のご案内について、対象者をご存知でしたら介護保険課へご連絡いただきたい旨周知した。
- ・次回、令和5年度第1回の協議会は令和5年5月頃を予定。